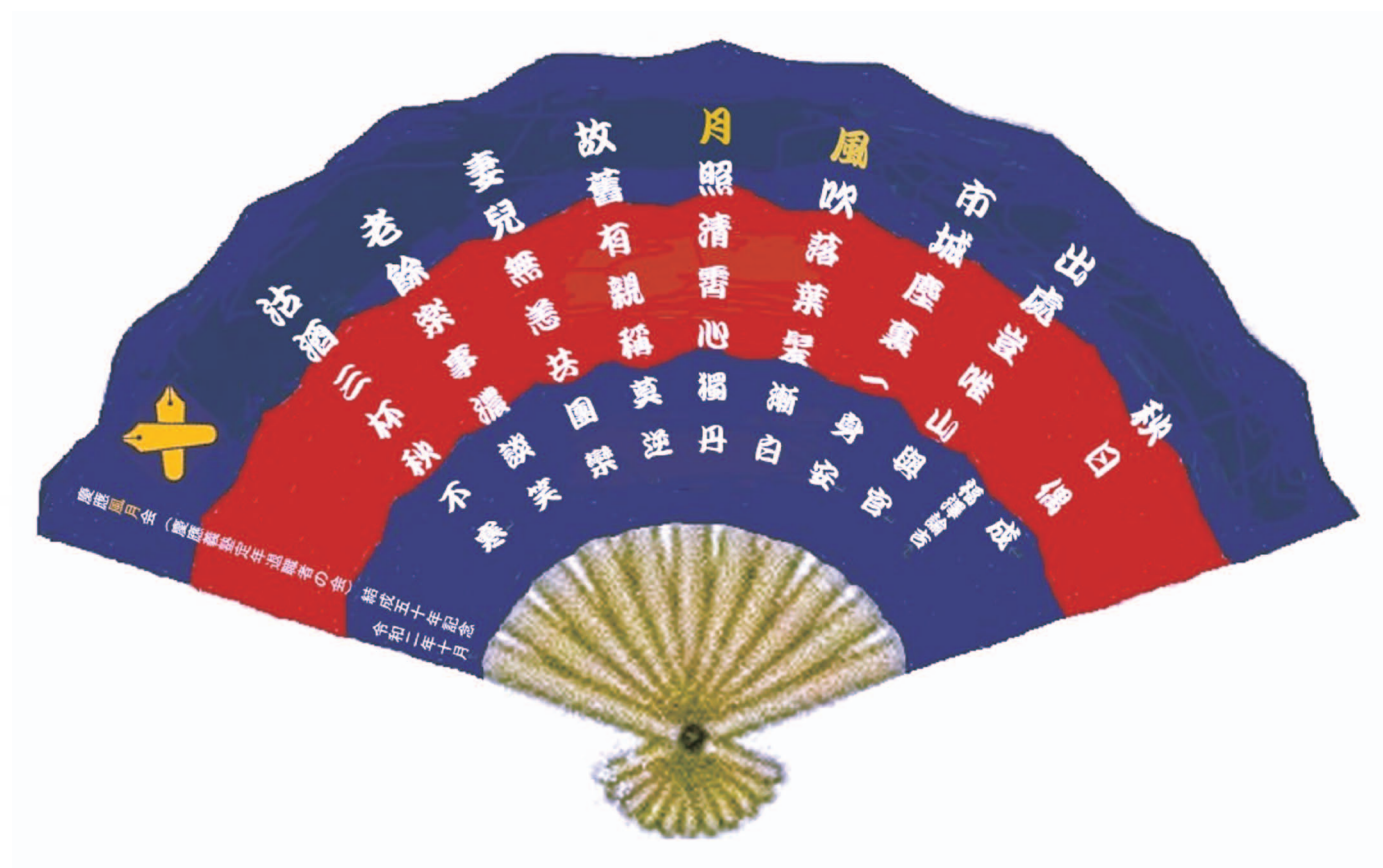




会名の由来

福澤先生が晩年に詠まれた七言律詩「秋日偶成」^{しゅうじつぐうせい}の中の「風」「月」から採られたものです。
富田正文著『福澤諭吉の漢詩三五講』（福澤諭吉協会叢書）より、該当箇所を以下に記します。

秋日偶成

出處豈唯山與官 市城塵裏一身安
風吹落葉髮漸白 月照清霄心獨丹
故舊有親稱莫逆 妻兒無恙共團欒
老餘樂事濃談笑 沽酒三杯秋不寒

秋^{あき}の日^ひにたまたま成^なれる

出^{しゅつ}處^{しよ}は豈^あに唯^ただ山^{さん}と官^{かん}とのみならんや
風^{かぜ}は落^{らく}葉^{よう}を吹^ふいて髮^{かみ}ようやく白^{しろ}く
故^こ旧^{きゅう}親^{しん}しみ有^あり 莫^{ばく}逆^{ぎゃく}と称^{しょう}し
老^{ろう}余^よの樂^{らく}事^じは談^{だん}笑^{しょう}濃^なまやかに

市^し城^{じょう}の塵^{じん}裏^りにも一^{いつ}身^{しん}安^{やす}し
月^{つき}は清^{せい}霄^{しょう}を照^てらして心^{こころ}ひとり丹^{あか}し
妻^{さい}兒^いつづがなく共^{とも}に団^{だん}欒^{らん}す
酒^{さけ}を沽^かいて三^{さん}杯^{ばい}すれば秋^{あき}も寒^{さむ}からず

人間の暮らし方は、出でて官に仕えて豪勢な楼閣に住み、しりぞいては山野に隠れ棲むというだけとは限らない。まちなかのごみごみしたところに居ても、一身を安らかに保つことができるものだ。今や季節は秋、わたしの人生も盛りを過ぎた。落ち葉が風に吹き寄せられているのを眺めているこのわたしの髪の毛もようやく白髪がふえてきた。雲ひとつないおおぞらを限なく照らしている秋の月のように、わたしの心もなんの陰もなくただまごころあるのみだ。むかしからの友だちは親しみ合つて互に莫逆の友と許し合い、妻や兒たちも何の障りもなく相集まつて睦み楽しんでる。年をとつてからの楽しみは、友人や家族が集まつて、こまごまとした談笑のうちに時を過ごすことで、そこで買ってきた酒を盃を挙げて三杯ものめば、秋の寒さも気にならず、天下泰平の気分になれるというわけである。

目 次

1. 会名の由来 表紙裏	
2. 年表.....	1
3. 歴代役員リスト（1998-2020）	3
4. 収支決算表（2017-2019）	5
5. ホームページ統計.....	8
6. 風月会歴史概要.....	9
7. 風月会諸規程.....	12

2. 年表

		慶應風月会 年表				
年	事 項	会 長	会員数 ※	備 考	義塾関連事項、『創立百二十五年 慶應義塾年表』及び『慶應義塾史事典（慶應義塾150年史資料集 別巻1）』より	
西暦	和暦					
1958	S33				11/8 創立100年記念式典 「慶應義塾百年史」刊行 「創立100年記念切手」発行	
1959	S34				6/26 「職員会※※」解散	
1960	S35				塾監局小史 刊行	
1968	S43				義塾命名100年記念式 4/1 定年制度を実施	
1969	S44				「慶應義塾図書館」 重要文化財指定	
1970	S45	10/ 20～30名の有志により 「慶應風月会」結成		事務局：慶應工学会、 新宿紀伊国屋ビル		
1971	S46					
1972	S47				工学部、日吉矢上台に移転	
1973	S48	11/27 慶應風月会「規則」制定	約100			
1974	S49				伊勢慶應病院開設 図書館旧館スタンドグラス復元	
1975	S50				三田演説館開館100年記念式	
1976	S51					
1977	S52				月が瀬リハビリテーションセンター開設	
1978	S53				大学院経営管理研究科開設	
1979	S54					
1980	S55					
1981	S56				工学部、理工学部に改組	
1982	S57				三田図書館（新館）開館	
1983	S58				創立125年記念式典	
1984	S59				日吉開設50年記念式典 選択定年制度施行	
1985	S60				福澤諭吉生誕150年記念式典 大学（日吉）新図書館開館	
1986	S61					
1987	S62	4/1 慶應風月会「規則」改正			3/31 塾監局小史Ⅱ 発行	
1988	S63	6/18 慶應風月会「規則」改正			看護短期大学開設	
1989	H1					
1990	H2				SFC創設、総合政策学部・環境情報学部開設 ニューヨーク学院（高等部）開校	
1991	H3					
1992	H4				湘南藤沢中等部・高等部開校	
1993	H5		西岡秀雄 元商学部教授	337	西岡会長は1993年以前 から就任していた模 様。 会の事務局は役員個人 事務局：「旅行三田 会」事務室内	
1994	H6			348		大学院政策・メディア研究科開設
1995	H7	6/28 慶應風月会「規則」改正	阪基光男 元法学部教授	365		
1996	H8			358		
1997	H9			356		
1998	H10			365		
1999	H11			371		
2000	H12			378		新川崎タウンキャンパス開設 丸の内シティキャンパス開設 福澤諭吉先生没後100年 看護医療学部開設 鶴岡タウンキャンパス開設
2001	H13			387		
2002	H14			393		
2003	H15	4/1 慶應風月会「規則」改正			事務局：三田川崎ビル 慶應工学会事務室へ	北里柴三郎博士生誕150年記念式典 野球早慶戦100周年 伊勢慶應病院開院 看護短期大学閉校
2004	H16			372		大学院法務研究科（法科大学院）開設
2005	H17			370		大学院健康マネジメント研究科開設
2006	H18	5/27 春季総会	小林賢三 元理工学部教授	366		
2007	H19	4/ 一日江戸散歩（日本橋めぐり） 10/ 一日江戸散歩（深川を歩く） 12/1 秋季総会		368	一日江戸散歩を企画 講師：白石 孝 元商学部教授（会員）	
2008	H20	4/1 慶應風月会「規則」改正 5/17 春季総会 11/29 秋季総会 11/ 一日江戸散歩（神楽坂を歩く）		377	事務所：悲願の三田山 上（総務部気付）へ、 作業場所：婦人室（教 職員談話室） 新入会員40名	大学院メディアデザイン研究科開設 大学院システムデザイン・マネジメント研究科開設 共立薬科大学との合併により薬学部・薬学研究科開設 11/8 創立150年記念式典 「創立150年記念切手」発行
2009	H21	風月会クラブ創設（囲碁クラブ、ゴルフクラブ、 テニスクラブ） 現在は囲碁クラブのみ存続 5/30 春季総会 10/31 秋季総会		392		
2010	H22	5/29 春季総会 10/30 秋季総会		389	新入会員29名	
2011	H23	慶應義塾を通じて東日本大震災義援金（30万円） 5/28 春季総会 10/29 秋季総会		387	新入会員20名	月が瀬リハビリテーションセンター閉院
2012	H24	5/26 春季総会 10/27 秋季総会	吉野肇一 元看護医療学部 教授	383	新入会員21名	
2013	H25	6/1 春季総会 10/26 秋季総会：第1回ミニ講演 「認知症予防と早期発見」 神経内科メモリークリニック伊東大介君		376	新入会員21名	横浜初等部開校 慶應大阪シティキャンパス開設

年		事 項	会 長	会員数	備 考	義塾関連事項
西暦	和暦					
2014	H26	5/31 春季総会 5/31 慶應風月会「規則」改正 10/31 秋季総会：第2回ミニ講演 「メタボをめぐる検査値判定について」 腎臓内分泌代謝内科 目黒周君 慶應風月会の旗を作成		362	新入会員21名	
2015	H27	1/10 慶應風月会ホームページを開設 5/30 春季総会 10/31 秋季総会：第3回ミニ講演 「大往生の創造」 よみうりランド慶友病院長 厚東篤生君		342	新入会員9名	大学部開設125年記念式典
2016	H28	5/28 春季総会 10/29 秋季総会：第4回ミニ講演 「福沢諭吉の死生観」 慶應義塾大学名誉教授 小室正紀（会員）		345	新入会員24名	殿町タウンキャンパス開設
2017	H29	5/27 春季総会 10/28 秋季総会：第5回ミニ講演 『自分らしく暮らすためにー「100歳人生」 時代にむけてー』 淑徳大学教授（元月が瀬リハ事務室）村上 信君		344	新入会員22名	医学部開設100年記念式典
2018	H30	4/ 慶應風月会ホームページの検索が1万件超える 5/26 春季総会 10/27 秋季総会		342	新入会員16名	3/31 塾監局小史Ⅲ 発行 5/7 新病院棟（1号館）開院
2019	H31 R1	5/25 春季総会 10/26 秋季総会		333	新入会員20名	3/ 慶應義塾大學医学部百年記念誌 発行
2020	R2	5/30 春季総会は新型コロナウイルス禍のため中止 10/31 秋季総会（結成50年総会）は新型コロナウイルス 禍のため中止		336	新入会員20名	大学病院開設100年記念

※会員数と新入会員は会員名簿より掲載。

※※職員会：1947（S22）年5月に現役教職員を対象に、地位の向上や経済的安定など慶應義塾教職員の諸課題を解決するために結成された任意団体。

1959（S34）年6月に「慶應義塾労働組合」の結成で解散。

3. 歴代役員リスト（1998-2020）

1997 年以前の記録残存せず，五十音順

年		会長	副会長	名誉顧問 (塾長)	顧問	幹事	監査
西暦	和暦						
1970	S45	?	?	佐藤 朔	?	?	?
1973 1977 1993 1995	S48 S52 H5 H7	西岡秀雄 阪埜光男	?	久野 洋 石川忠雄 鳥居康彦 鳥居康彦	?	?	?
1998	H10	阪埜光男	西村光吉 野口福次	鳥居康彦	岩崎武次 西岡秀雄	榎本愛子 小沢恒二 重信昭子 関谷昭子 染谷綾子 永谷陽子 宮部美充	有居 孝
1999	H11	阪埜光男	西村光吉 野口福次	鳥居康彦	岩崎武次 西岡秀雄	荒井龍雄 榎本愛子 小沢恒二 重信昭子 関谷昭子 染谷綾子 永谷陽子 宮部美充	有居 孝
2000	H12	阪埜光男	大館清次 西村光吉	鳥居康彦	岩崎武次 西岡秀雄	荒井龍雄 榎本愛子 小沢恒二 重信昭子 関谷昭子 染谷綾子 永谷陽子 宮部美充	有居 孝
2001	H13	阪埜光男	大館清次 西村光吉	安西祐一郎	岩崎武次 西岡秀雄	荒井龍雄 榎本愛子 小沢恒二 重信昭子 関谷昭子 染谷綾子 永谷陽子 宮部美充	有居 孝
2002	H14	阪埜光男	大館清次 小沢恒二	安西祐一郎	岩崎武次 西岡秀雄	荒井龍雄 岩野節夫 小茂鳥昭子 重信昭子 関谷昭子 田中照子 永谷陽子 宮部美充	有居 孝
2003	H15	阪埜光男	大館清次 小沢恒二	安西祐一郎	岩崎武次	荒井龍雄 岩野節夫 河野福治 小茂鳥昭子 重信昭子 関谷昭子 田中照子 永谷陽子	有居 孝
2004	H16	阪埜光男	大館清次 小沢恒二	安西祐一郎	岩崎武次	荒井龍雄 岩野節夫 小茂鳥昭子 重信昭子 関谷昭子 田中照子 永谷陽子 河野福治	有居 孝
2005	H17	阪埜光男	大館清次 小沢恒二	安西祐一郎	岩崎武次	荒井龍雄 岩野節夫 河野福治 小茂鳥昭子 重信昭子 関谷昭子 田中照子 永谷陽子	有居 孝
2006	H18	小林賢三	岩野節夫 谷戸祥晃	安西祐一郎		荒井龍雄 河野福治 小茂鳥昭子 重信昭子 田中照子 都丸禎一 永谷陽子	茂呂 実
2007	H19	小林賢三	岩野節夫 谷戸祥晃	安西祐一郎		荒井龍雄 河野福治 小茂鳥昭子 重信昭子 田中照子 都丸禎一 永谷陽子 梨本勇	茂呂 実
2008	H20	小林賢三	斉藤文雄 谷戸祥晃	安西祐一郎		河野福治 小茂鳥昭子 重信昭子 田中照子 都丸禎一 水谷陽子 梨本勇	茂呂 実
2009	H21	小林賢三	斉藤文雄 谷戸祥晃	安西祐一郎 清家 篤		河野福治 小茂鳥昭子 重信昭子 田中照子 都丸禎一 永谷陽子 梨本勇	相沢洋志郎
2010	H22	小林賢三	谷戸祥晃	清家 篤		河野福治 小茂鳥昭子 佐藤芳子 塩田尚子 田中照子 都丸禎一 梨本勇	相沢洋志郎
2011	H23	小林賢三	小川一雄 吉野肇一	清家 篤		河野福治 小茂鳥昭子 佐藤芳子 塩田尚子 鈴木幸男 都丸禎一 梨本勇	相沢洋志郎
2012	H24	吉野肇一	小川一雄	清家 篤		川上清子 佐藤芳子 塩田尚子 鈴木幸男 都丸禎一 横山光曦	相沢洋志郎
2013	H25	吉野肇一	石川武 小川一雄	清家 篤		川上清子 佐藤芳子 塩田尚子 鈴木幸男 都丸禎一 横山光曦	相沢洋志郎 小山隆利
2014	H26	吉野肇一	石川武	清家 篤		井上昌子 江口正広 塩田尚子 鈴木幸男 富澤英治 三浦英子 横山敏雄 横山光曦	小山隆利

2015	H27	吉野肇一	石川武	清家 篤		井上昌子 江口正広 鈴木文子 鈴木幸男 富澤英治 三浦英子 横山敏雄	小山隆利
2016	H28	吉野肇一	石川武	清家 篤		江口正広 鈴木文子 鈴木幸男 富澤英治 三浦英子 横山敏雄	小山隆利
2017	H29	吉野肇一	石川武	清家 篤 長谷山彰		江口正広 鈴木文子 鈴木幸男 富澤英治 横山敏雄 吉田美智子	小山隆利
2018	H30	吉野肇一	石川武	長谷山彰		江口正広 鈴木文子 鈴木幸男 横山敏雄	小山隆利
2019	H31 R1	吉野肇一	石川武	長谷山彰		井上昌子 江口正広 鈴木文子 鈴木幸男 横山敏雄	小山隆利
2020	R2	吉野肇一	石川武	長谷山彰		井上昌子 江口正広 鈴木文子 鈴木幸男 横山敏雄	小山隆利

4. 収支決算表 (2017-2019)

平成29年度 慶應風月会収支決算表

自;平成29年 4月 1日

至;平成30年 3月31日

1. 収入の部

(単位円)

科 目	摘 要	29年度決算額	28年度決算額	増・減(△)
①前年度繰越金		1,997,675	2,136,407	△ 138,732
②入 会 金	新会員 24名×2,000	48,000	48,000	0
③年 会 費	延べ人数 339名×2,000	678,000	662,000	16,000
④総 会 参 加 費	総会参加者計 208名(春122名・秋86名)	415,000	449,000	△ 34,000
⑤助 成 金	義塾よりの補助	100,000	100,000	0
⑥利 子	三井住友銀行 13円、ゆうちょ銀行 4円	17	83	△ 66
収入小計	(②から⑥までの計)	1,241,017	1,259,083	△ 18,066
収 入 合 計		3,238,692	3,395,490	△ 156,798

2. 支出の部

科 目	摘 要	29年度決算額	28年度決算額	増・減(△)
①会 合 費	春・秋総会費および役員会費	609,280	614,244	△ 4,964
②弔 慰 金		0	50,000	△ 50,000
③印 刷 物 費	会員名簿、総会・講演資料、近況報告 他	367,730	354,610	13,120
④通 信 費	総会(春・秋)欠席者への総会資料送付料他	68,743	65,522	3,221
⑤消耗品費	プリンターインク、文房具他	5,832	19,192	△ 13,360
⑥交 通 費	幹事役員会(8回)、HP打合せ、事務処理交通費	155,120	159,060	△ 3,940
⑦業務委託費	春・秋総会開催通知発送業務委託(含葉書代)、HPサーバ利用料	107,879	90,719	17,160
⑧事 務 費	現金書留手数料、振込手数料	1,978	4,468	△ 2,490
⑨倶楽部活動奨励金	囲碁倶楽部 助成金	10,000	10,000	0
⑩その他	秋季総会講演料	30,000	30,000	0
支出小計	①から⑩までの合計	1,356,562	1,397,815	△ 41,253
⑪次年度繰越金		1,882,130	1,997,675	△ 115,545
支 出 合 計		3,238,692	3,395,490	△ 156,798

* 当年度収支差額

1) 当期収入	1,241,017 円
2) 当期支出	1,356,562 円
3) 当期残高	△ 115,545 円

* 現金・預金合計金額

1,882,130

内訳 ; ・現 金	64,405
・普通預金	1,632,899
・郵便貯金	184,826

会計担当 江口 正広



上記の通り相違ありません。

平成30年4月16日

会計監査 小山 隆利



2018年度 慶應風月会収支決算表

自;2018年4月1日

至;2019年3月31日

1. 収入の部

(単位円)

科 目	摘 要	2018年度 決算額	2017年度 決算額	増・減(△)
①前年度繰越金		1,882,130	1,997,675	△ 115,545
②入 会 金	新会員 16名×2,000	32,000	48,000	△ 16,000
③年 会 費	延べ人数 315名×2,000	630,000	678,000	△ 48,000
④総 会 参 加 費	総会参加者計 182名(春104名・秋78名) 春:@2,000×104/秋:@3,000×78	442,000	415,000	27,000
⑤助 成 金	義塾よりの補助	100,000	100,000	0
⑥利 子	三井住友銀行 12円、ゆうちょ銀行 2円	14	17	△ 3
収入小計	(②から⑥までの計)	1,204,014	1,241,017	△ 37,003
収 入 合 計		3,086,144	3,238,692	△ 152,548

2. 支出の部

科 目	摘 要	2018年度 決算額	2017年度 決算額	増・減(△)
①会 合 費	春・秋総会費および役員会費	583,880	609,280	△ 25,400
②弔 慰 金	5,000×2件	10,000	0	10,000
③印 刷 物 費	会員名簿、総会・講演資料、近況報告 他	344,900	367,730	△ 22,830
④通 信 費	総会(春・秋)欠席者への総会資料送付料他	69,509	68,743	766
⑤消耗品費	プリンターインク、文房具他	13,650	5,832	7,818
⑥交 通 費	幹事役員会(8回)、HP打合せ、事務処理交通費	151,940	155,120	△ 3,180
⑦業務委託費	春・秋総会開催通知発送業務委託(含葉書代)、HPサーバ利用料	114,452	107,879	6,573
⑧事 務 費	現金書留手数料、振込手数料	2,922	1,978	944
⑨倶楽部活動奨励金	囲碁倶楽部 助成金	10,000	10,000	0
⑩その他	秋季総会講演料(H30は実施せず)	0	30,000	△ 30,000
支出小計	①から⑩までの合計	1,301,253	1,356,562	△ 55,309
⑪次年度繰越金		1,784,891	1,882,130	△ 97,239
支 出 合 計		3,086,144	3,238,692	△ 152,548

* 当年度収支差額

1) 当期収入	1,204,014 円
2) 当期支出	1,301,253 円
3) 当期残高	△ 97,239 円

* 現金・預貯金合計金額

現金・預貯金合計金額	1,784,891
内訳: ・ 現 金	101,368
・ 普通預金	1,532,911
・ 郵便貯金	150,612

会計担当 江口 正広



上記の通り相違ありません。

2019年4月12日

会計監査 小山 隆利



2019年度 慶應風月会収支決算表

自;2019年4月1日

至;2020年3月31日

1. 収入の部

(単位円)

科 目	摘 要	2019年度 決算額	2018年度 決算額	増・減(△)
①前年度繰越金		1,784,891	1,882,130	△ 97,239
②入 会 金	新会員 21名×2,000	42,000	32,000	10,000
③年 会 費	延べ人数 303名×2,000	606,000	630,000	△ 24,000
④総 会 参 加 費	総会参加者計 172名(春97名・秋75名)×3,000	516,000	442,000	74,000
⑤助 成 金	義塾よりの補助	100,000	100,000	0
⑥利 子	三井住友銀行 13円、ゆうちょ銀行 2円	15	14	1
収入小計	(②から⑥までの計)	1,264,015	1,204,014	60,001
収 入 合 計		3,048,906	3,086,144	△ 37,238

2. 支出の部

科 目	摘 要	2019年度 決算額	2018年度 決算額	増・減(△)
①会 合 費	春・秋総会費および役員会費	582,734	583,880	△ 1,146
②弔 慰 金	5,000×1件	5,000	10,000	△ 5,000
③印 刷 物 費	会員名簿、総会・講演資料、近況報告 他	320,558	344,900	△ 24,342
④通 信 費	総会(春・秋)欠席者への総会資料送付料他	57,428	69,509	△ 12,081
⑤消耗品費	プリンターインク、文房具他	8,147	13,650	△ 5,503
⑥交 通 費	幹事役員会(7回)、HP打合せ、事務処理交通費	138,790	151,940	△ 13,150
⑦業務委託費	春・秋総会開催通知発送業務委託(含葉書代)、HPサーバ利用料	103,540	114,452	△ 10,912
⑧事 務 費	現金書留手数料、振込手数料	1,896	2,922	△ 1,026
⑨倶楽部活動奨励金	囲碁倶楽部 助成金	10,000	10,000	0
⑩その他	秋季総会講演料(2018・2019は実施せず)	0	0	0
支出小計	①から⑩までの合計	1,228,093	1,301,253	△ 73,160
⑪次年度繰越金		1,820,813	1,784,891	35,922
支 出 合 計		3,048,906	3,086,144	△ 37,238

*当年度収支差額

1) 当期収入	1,264,015 円
2) 当期支出	1,228,093 円
3) 当期残高	35,922 円

*現金・預貯金合計金額

1,820,813

内訳：	・ 現 金	76,245
	・ 普通預金	1,632,924
	・ 郵便貯金	111,644

会計担当 江口 正広



上記の通り相違ありません。

2020年4月23日

会計監査 小山 隆利



5. ホームページ

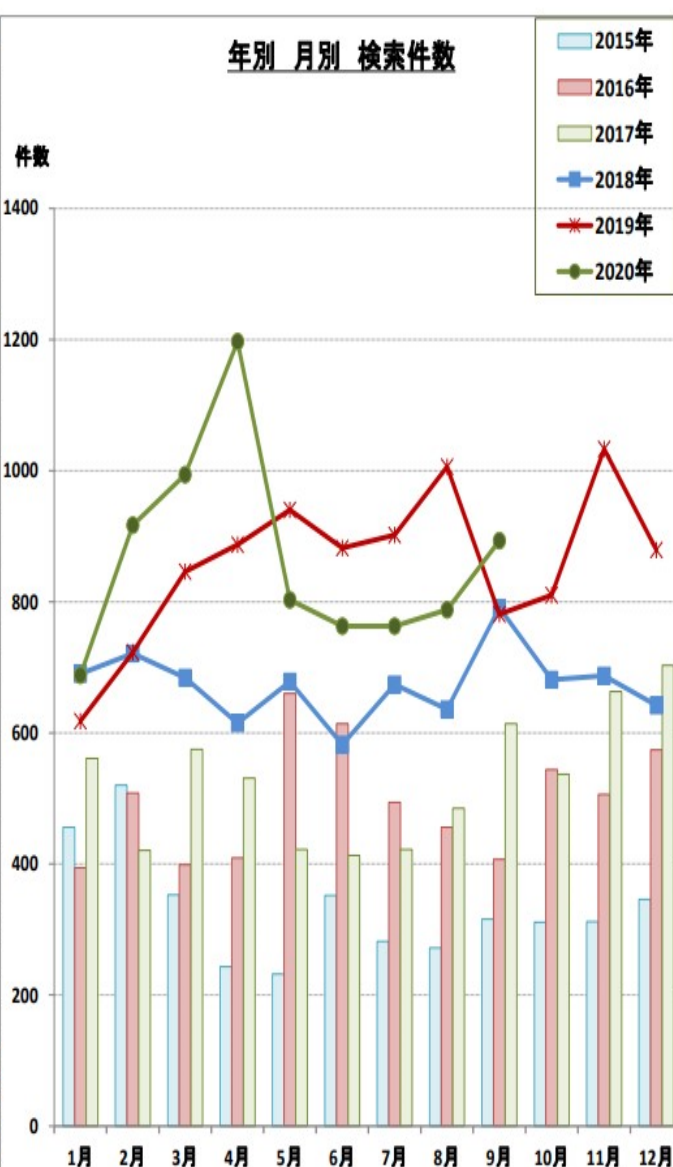
2020年 月別・日別 ホームページ検索統計(Visits)

2020/10/1

日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	28	38	27	23	57	23	23	27	32			
2	31	26	26	16	17	32	22	20	28			
3	14	29	18	27	25	25	22	23	43			
4	18	48	22	20	23	28	33	31	31			
5	18	50	28	30	20	31	17	21	32			
6	20	39	29	28	25	15	24	23	16			
7	28	50	16	39	31	17	19	32	16			
8	22	44	20	27	23	17	18	28	31			
9	25	54	17	31	31	22	32	26	47			
10	30	43	75	23	39	41	31	30	45			
11	21	43	62	38	37	28	23	24	32			
12	24	58	62	29	21	20	27	39	44			
13	18	51	56	22	23	28	24	26	31			
14	19	36	54	33	29	17	20	26	28			
15	23	41	73	23	22	21	29	17	34			
16	13	11	52	18	15	33	24	22	33			
17	16	15	34	38	10	34	16	22	30			
18	15	24	23	57	26	22	26	33	23			
19	18	19	24	51	19	23	16	27	26			
20	17	18	30	55	19	25	16	29	26			
21	15	22	31	55	21	22	11	17	27			
22	12	17	19	45	40	26	33	21	35			
23	16	19	20	61	16	39	34	13	19			
24	12	24	20	49	39	21	23	25	26			
25	16	17	19	58	31	23	35	30	24			
26	28	17	33	60	39	33	24	23	24			
27	19	19	21	50	19	34	37	24	20			
28	46	27	21	48	24	18	30	28	29			
29	49	18	19	83	22	23	28	24	35			
30	27		20	60	23	22	23	31	26			
31	30		23		17		23	26				
計	688	917	994	1197	803	763	763	788	893			
累計	688	1605	2599	3796	4599	5362	6125	6913	7806			
1日平均	22.2	31.6	32.1	39.9	25.9	25.4	24.6	25.4	29.8			
2019年	618	723	846	887	940	882	902	1006	781	810	1033	879
2018年	690	721	684	615	678	582	674	636	791	681	687	642
2017年	561	421	575	531	422	413	422	485	614	537	663	703
2016年	394	508	399	409	660	614	494	456	407	544	506	574
2015年	456	520	353	243	232	352	282	272	316	311	312	346

は休祭日

はホームページ更新日(毎月10日予定)



ホームページ掲載内容

会長挨拶, 会名の由来

役員リスト, 規則, 財務

総会報告, ミニ講演当日配布資料

会員近況

入会案内, 会員数

TOPICS: 義塾の歴史

その他

6. 風月会歴史概要

会長 吉野肇一

はじめに

本稿は、本会結成 50 年を記念して、都丸禎一 元幹事からいただいた資料を基に、面識のあった故 河野 福治 幹事、谷戸 祥晃 副会長、小林 賢三 会長、永谷 陽子 幹事などからお伺いしたことを自分なりにまとめたものである。本紙の、「年表」、「歴代役員リスト」、などとともにみていただきたい。なお、本会に関する資料は 21 世紀より前のものは残念ながら残っていない。組織体において、少なくとも四半世紀に一度は記録を作るべきという原則を改めて実感した次第である。したがって当時に関する記載の多くは推量の域を出ないものなので、お気づきの点がありましたらご指摘もお願いしたい。

多くの先輩のお名前を挙げることになるが、義塾の慣習に従い、「君」付けとし、慶應風月会会員という仲間なので、敬語は用いていない。また、職位は当時のものである。

本会の結成とその後の 30 年

1970 年の本会結成について、既述のとおり、当時を語る生き証人は見当たらず、資料も残っていない。それが、義塾の定年制度導入の 2 年後であることから、定年時未だ血気盛んであり、退職後も活発な交流を、在職中の職位に関係なく、愛塾精神とともに末永く続けようという趣旨で始まったものであることは間違いなからう。

なお会名の由来については、表紙裏にあるとおり、福澤先生の七言律詩からいただいたものであるが、それ以上のことは不明である。

なお今回、本会のような「定年退職者の会」の存在について、早大を含めた 13 私大に問い合わせることができたが、結果は法大と昭和女子大の 2 校でのみ、確認されたので付記しておく。

本会規則が初めて制定された 1973 年の会員数は約 100 名とされている（現在は 332 名で、毎年の新入会員は 20 名前後）。当時のキーパーソンの一人は、世話好きと言われた故 林 正吾君であろう。彼は、長く塾監局文書課分野で活躍したことから、定年制度導入の動向や本会結成の経緯などを捕捉しやすい立場であった。また、現在も続いている義塾から本会への補助金は、現役世代から定年後の先輩に対する思い遣りに端を発するものと思われる。その彼は、定年後、慶應工学会（以後、工学会）の事務局長を 1991 年まで務め、その間、本会役員（会長代行、副会長など）を担当していたものと考えられる。本会と工学会との長いおつきあいはこうして始まり、この間、本会事務所は工学会事務局内にあったが、その後は、本会役員宅や、旅行愛好家であった宮部美充 本会幹事のお世話で三田キャンパス近くの「旅行三田会事務室内」におかれた。

2003 年に、工学会事務局長を務めていた故 河野 福治 幹事の仲介で、本会事務所を再び工学会事務局内に置くこととなった。ただし、次のような条件付き、「工学会賛助会員として毎年 10 万円の寄付」で、ということであった。

これまで会長名が出てこなかったのは、会長職が名誉職というか、「お飾り」であったことによる。

本会事務所の電子化と新しい会長像

2007 年に本会事務所へのパソコンが導入され、さらに小林 賢三 会長は自ら会員データの入力を買って出た。これらのことは本会の歴史にとって大きな変化で、本会の電子化により年会費（2 千円、今も変わらず）徴収率が上昇し、また、会長職が前述のような「お飾り」ではなく、活動的

なものとなったのである。

2007 年から翌年にかけては、「一日江戸散歩」が、江戸時代に通曉していた白石 孝 名誉教授（本会会員）のガイドで 3 回開催された。毎回、20-30 人くらいが参加して好評であったが、残念ながら白石君の体調によりそれきりとなってしまった（谷戸 副会長）。

2009 年に風月会クラブとして、囲碁、ゴルフ、テニスの三つが創設され、それぞれに 1 万円/年のクラブ活動奨励補助金が交付されるようになった。現在、囲碁クラブのみ存続している。

2010 年の本会結成 40 年記念事業として、記念タオル作製（予算 30 万円程度）が提案されたが日の目をみなかった。

2011 年の東日本大震災に対する義塾義援金口座に 30 万円が拠出された。

本会事務所が三田キャンパス内に

前述の河野君が、工学会事務局長退任以降、本会事務局をそれまでのように工学会事務局に置くことが困難になった。そこで、都丸禎一幹事らは数回にわたって塾監局に、三田キャンパス内に本会事務所を置かせていただくよう交渉したが不成功であった。しかし彼らは諦めず、当時、義塾 150 年事業で活躍していた石川 武君（後年、本会副会長）らからのアドバイスを基に、工藤教和常任理事らあて書面をしたためて提出したところ、見事に成功したのである。おかげで 2008 年以降、本会事務所住所は塾監局総務部気付となり、三田キャンパス婦人室（北門の近く、生協の 2 階）を資材置き場と会議・作業のために使用させていただいており、誠にありがたい。関係各位に厚くお礼申し上げる次第である。なお、前述の工藤教和君は、次期会長就任を含んだ副会長候補者である。また、前述の「工学会賛助会員として毎年 10 万円の寄付」が不要となったので、役員活動に対してそれまで出ていなかった交通費が支給されることとなった。

2012 年以降と総会のこと

私は 2012 年に、小林賢三会長指導下の副会長職を経て会長職を拝命した。既述のように、諸先輩の努力のおかげで本会の基礎はしっかりと出来上がっていたので、取り立てて記す材料は少ないが、敢えて述べさせていただくと次のようなことを挙げることができる。

まず、諸規程の整備で、それまで「阿吽の呼吸」で行われてきた事柄の明文化に努めた。

本会の通常的な最大の事業は、春秋の総会*である。秋の総会では、春の総会時に行われる会務事項の報告、承認等がなく、時間的に余裕のあることから「ミニ講演」を 2013 年から 17 年まで 5 回、企画実行した。内容は医療・介護関係が多く、福澤先生に関するものもあった。それらの資料の一部は、本会ホームページに掲載されている。ただし現在は、ネタ切れで休止中である。会場について、長い間、信濃町キャンパス内の職員食堂「百兆」であったが、日吉キャンパスでの開催を望む会員も多いことから 2017 年から秋の総会を同キャンパス内学生食堂としている。参加者はいずれも 100 名前後で、会場差は認められない。この年 2 回の総会開催のため、役員会は春秋それぞれ、少なくとも 6 回開催し、そのほかに総務、会計、広報担当幹事はおのこの、業務を遂行している。しかしながら今年に入ってから、このコロナ禍で、三田キャンパスの閉鎖もあり、後期高齢者も含まれる役員会は開かれず、もっぱらメール審議がなされている。このような状況下でも総務担当幹事をはじめとして、会計担当幹事らは郵便物の整理、印刷所訪問など、リモートワーク不可能部門で三田キャンパスなのでの作業を継続し、それらによって、本会は辛うじて息をつないでいる状況である。

2015 年にホームページが、ホームページ担当役員とホームページ協力会員などにより開設された。現在、アクセス数は 23,000 件を超えている。

* 本会総会について

総会は、本会規則にある本会の目的である会員相互の親睦と連絡を達成するために、例年事業としては最大のもので、年表には2006年に春季総会ということで初めて出てくる。それまでも開催されていたことと考えられるが、記録がない。2007年以降、毎年、春秋の2回、野球の早慶戦のときに開催されてきた。会場は、上記のように2017年春まで信濃町キャンパスである。これには次のような二つの理由がある。①名誉顧問の塾長代理で参加していただき、義塾の現況を報告してくださる常任理事が、早慶戦のときには神宮球場に歩を運ばれることが多いので、会場が信濃町キャンパスであると参加されやすい。②高齢者の集会なので急病発生時への考慮が必要で、その点、信濃町キャンパスは断然優位である。

参会費については長く2千円で、実質経費3千円との差額は本会で負担をしてきた。しかしながら健全財政のために、2019年秋から3千円とした。

参加者数は、毎回、100名前後で、会場の差、参会費値上げは特に影響がなかったようである。

総会資料として毎回配布され、好評を得ている「会員近況報告」も、開始時期が不明であるほど長い間、続けられている。

本会結成50年記念事業

本年10月が結成50年ということで、秋の総会を日吉キャンパスで「記念総会」として、「記念講演」及び記念品の「扇子」配布を予定したが、コロナ禍で残念ながら開催は中止となった。

「扇子」については、本誌表紙に示したようなものが、関係各位のご協力で作出来上がった。ここでは、塾監局当該部署の許可を得たのち、義塾のスクールカラーの上に、本会会名の由来となった福澤先生の七言律詩を加えたが、このアイデアは都丸元幹事による。この七言律詩については、かつての同僚、山内慶太教授（看護医療学部・福澤研究センター）に原典で確認してもらい、配列方法・字体（江戸勘亭流）については、高校（都立上野）の同級生で漢詩作りに精通の平井功一元日本薬学会常任理事に監修してもらった。またこの予算規模は、350本70万円で、本会歴史上、最大となった。このような財産を作っていただいた先輩諸氏に現会員を代表して衷心よりお礼申し上げる次第である。

最後に、この扇子の作製過程について

結成50年記念品として「扇子」と決定し、デザインも決めたのちに、全会員に扇子業者の知合いを尋ねたが、対応がなかった。そこで私の友人（加藤 肇（株）フジ製作所会長）の仲介で、浅草・仲見世の扇子専門店「飯田屋羽木正」を訪れた。幸運にもその女将が大の慶應ファンで、上記予算で快く引き受けてくれ、京都府山科区（有）幸尚堂、経済産業大臣指定伝統工芸品・京扇子扇加工部門 伝統工芸士 講殿尚志氏に製作依頼となった。一般的な正規価格は、予算の2倍弱のことである。

表紙では仲骨が8本となっていて、舞扇風であるが、出来上がりは27本の実用扇である。扇子を入れた熨斗袋（前記、加藤会長のご厚意による）には、「記念」ではなく「壽恵廣」と記すことにした（裏表紙）。意味は、「扇子の待ち手は細く、先に向かうにつれて広がっていることから別称で、先行きがいい、将来の可能性が広がる」という意味があり、本会のますますの発展を期待したものである。

了

7. 風月会諸規程

慶應義塾教職員定年退職者の会「慶應風月会」規則

制定:昭和 48 年 11 月 27 日

改正:平成 26 年 5 月 31 日

第 1 条 (名称・所在地)

本会は、慶應義塾教職員定年退職者の会「慶應風月会」と称する。本会の事務所は東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス総務部内に置く。

ただし、必要に応じて連絡先を本会の幹事宅にすることができる。

第 2 条 (会員)

本会の会員は、次のとおりとする。

- 一 慶應義塾を定年で退職し、本会の目的に賛同した者
- 二 慶應義塾を選択定年で退職し、本会の目的に賛同した者
- 三 その他、会員の推薦により役員会で承認した者

第 3 条 (目的)

本会は、会員相互の親睦と連絡を図り、併せて生活の向上に努めるとともに、慶應義塾の発展に寄与することを目的とする。

第 4 条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 会員相互の親睦と連絡に関する事項
- 二 生活向上のための事項
- 三 慶應義塾と会員間の連絡
- 四 その他、本会の目的を達成するために必要な事項

第 5 条 (役員)

① 本会に、次の役員を置く。

- | | | | | |
|---|---|---|-------|-------|
| 一 | 会 | 長 | 1 名 | |
| 二 | 副 | 会 | 長 | 2 名以内 |
| 三 | 幹 | 事 | 若干名 | |
| 四 | 監 | 査 | 2 名以内 | |

② 役員の選出方法は、次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長
総会において、会員の中から選出する。
- 二 幹事及び監査
会長より委嘱し、役員会の承認を得る。

③ 役員の職務は、次のとおりとする。

- 一 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 三 幹事は、平常の会務を執行する。幹事は、総務担当及び会計担当とし、それ以外の担当は、必要に応じて定めることができる。
- 四 監査は、会計及び会務執行状況の監査に当たる。

④ 役員の任期は、次のとおりとする。

- 一 任期 2 年とし、再任を妨げない。
- 二 役員に欠員を生じたときは、前項の手続きを経てこれを補充する。
ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

第 6 条 (名誉顧問・顧問)

① 本会に、名誉顧問及び顧問を置くことができる。

② 名誉顧問は慶應義塾長とし、任期は慶應義塾長在任期間とする。

③ 顧問は多年にわたり本会の発展に寄与された者ないしは寄与されることが期待される者の中から、会長が推挙し、総会において決定する。

④ 顧問の任期は、会長委嘱の日から始まり、推挙した会長の任期とともに終了する。

ただし、再任を妨げない。

第 7 条 (会議・議決)

① 本会の会議は、総会及び役員会とする。

② 総会は、会員をもって構成し、毎年 1 回以上開催する。

③ 役員会は、第 5 条第 1 項で定める役員で構成し、必要に応じ随時開催する。

④ 総会及び役員会の議決は、それぞれ出席者の過半数の同意をもって成立する。

第8条 (会 計)

- ① 本会の経費は入会金、会費、寄付金及びその他の収入をもって充てる。
- ② 本会の支出は、役員会の承認を得て、会長の責任で執行し、会計担当幹事の下で管理する。

第9条 (入会金・年会費)

- ① 会員は入会金及び年会費を支払う。
- ② 入会金は2,000円とし、入会時に納入する。
- ③ 年会費は、1ヵ年2,000円とし、原則として当該年度末までに納入する。

第10条 (会計年度・決算)

- ① 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日までとする。
- ② 収支決算は、監査の会計監査を受け、役員会の承認を経て、総会に報告する。

第11条 (退会)

- ① 死亡による者
- ② 自己都合による者
- ③ 過去3年度以上に亘る年会費を滞納している者
- ④ その他

第12条 (規則改正の発議・決定・周知)

- ① 本会規則の改正は、役員会の発議に基づき総会に提案し、総会出席者の過半数の同意を得て決定する。
- ② 会員は、この規則の改正が必要と判断したときには、会長に対して書面により上申することができる。
- ③ 会長は、総会の議決に基づきこの規則が改正されたときには、総会欠席者に対して書面などの方法で、速やかに周知する。

第13条 (内規・その他)

- ① 本会規則の円滑な運用のため、会長は役員会の承認を経て、内規を制定又は改正することができる。
- ② 本会規則に規定されていない事項については、原則として、役員会において協議し、決定する。

付則

- 第1条 この規則は、昭和48年11月27日から施行する。
- 第2条 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。
- 第3条 この規則は、昭和63年6月18日から施行する。
- 第4条 この規則は、平成7年6月28日から施行する。
- 第5条 この規則は、平成15年4月1日から施行する。
- 第6条 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 第7条 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 第8条 この規則は、平成26年5月31日から施行する。

慶應義塾教職員定年退職者の会「慶應風月会」規則内規

制定：平成20年5月12日

改定：平成26年5月31日

第1条

本内規は、慶應義塾教職員定年退職者の会「慶應風月会」規則(以下「風月会規則」と称する)第13条①項に基づき、風月会規則の円滑な運用を図ることを目的とする。

第2条

風月会規則第11条の1に基づく死亡者に対する弔慰金は、1万円とする。

第3条

風月会規則第9条の③項に基づく年会費の滞納者に対する取扱いは、規則第11条に基づき退会扱いとするが、退会決定後の再入会の取扱いは、次の通りとする。再入会を希望する者については、特段の事由がない限り、会員時に滞納していた年会費全額を納入することを条件とし、会長宛に再入会申請書を提出することにより、再入会できるものとする。

付則

- 第1条 この内規は、平成20年4月1日から施行する。
- 第2条 この内規は、平成22年3月31日から施行する。
- 第3条 この内規は、平成26年5月31日から施行する。

慶應風月会 結成50年記録

2020 年（令和 2 年）10 月 31 日 発行

編 纂 慶應風月会会長 吉野肇一

発 行 慶應風月会

港区三田 2-15-45

慶應義塾総務部気付

印 刷 （有）梅沢印刷

港区三田 2-15-45

慶應義塾大学内

壽惠廣



慶應風月会
(慶應義塾定年退職者の会)

結成五十年